

# 素形材カンパニー



素形材カンパニープレジデント  
渡邊 洋

## 中期経営計画の基本方針

### グローバル成長に向けた モノづくり基盤の強化で 新たな価値の創造

## 定量目標に対する進捗

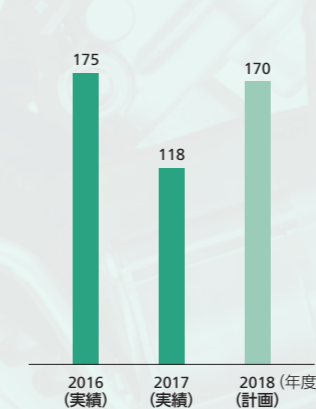
### 売上収益

(億円)



### 調整後営業利益

(億円)



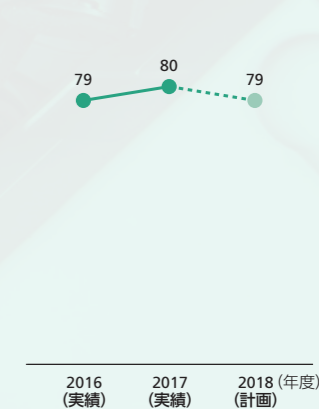
### 調整後営業利益率

(%)



### 海外売上比率

(%)



## ■ 中期経営計画に対する事業の進捗

### 事業の状況

素形材カンパニーでは、中期経営計画において「グローバル成長に向けたモノづくり基盤の強化で新たな価値の創造」を基本方針に掲げて、鋳鉄と耐熱鋳鋼、アルミ、配管機器の4事業を推進しています。

足元では、重点課題として、耐熱鋳鋼事業とアルミ事業の業績改善に取り組んでいます。耐熱鋳鋼事業は、製造難易度の高まりによる生産性低下や価格設定などの課題により、2017年度は損失を計上しました。しかしながら鋳造条件最適化や加工効率の改善などによる生産性向上や価格は正により、2018年3月には単月ですが黒字化を達成しました。2018年度は年間での黒字化の達成を目標としています。アルミ事業

についても、固定費の過剰な削減やアルミホイールの製造難易度の高まりなどから生産性が低下し、損失を計上しました。生産性の改善に継続して取り組むほか、米国拠点の経営体制を刷新し、事業安定化を推進しています。

### 市場トレンドと戦略

素形材カンパニーの主要製品である自動車用鋳物部品は、環境性能向上を目的とした高性能化や軽量化が求められています。内燃機関であれば、エンジンに使用されるターボ部品の耐熱性や形状の複雑化への対応が必要です。EVであれば、モーターケース、インバーターケースなどが新たに必要となります。その一方で、商用車などでは、安定供給性や大型鋳造

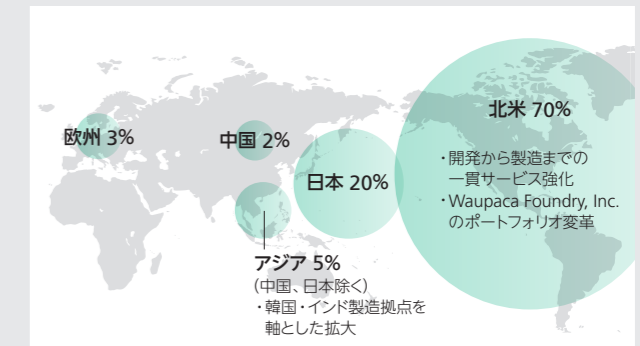
品が求められるなど、市場ニーズは多様化しています。

素形材カンパニーは、多様化する市場ニーズをチャンスと捉え、鋳物・アルミ統合No.1サプライヤーへの変革をめざしています。その一環として自動車関連の3つの統括部を統合し、最適なソリューションを提供できる体制にしました。技術力だけでなく多様な製品ラインアップと企画提案力でお客様に価値を提供していきます。

### グローバル供給体制強化

素形材カンパニーの海外売上比率は約80%です。今後さらにグローバルでの供給、サービス体制を強化する方針です。自動車分野では北米での軽量化製品のデザイン開発から製造までの一貫サービスの強化、アジア地区では韓国・インド製造拠点を軸とした新興市場向けビジネスを拡大する計画です。

### 地域別売上比率と主要施策



### 配管機器事業

配管機器事業では、既存事業の拡大、モノづくり力強化に加え、新規事業としてソリューションビジネスの開始・強化を行うことで事業拡大を推進します。

マスフローコントローラやフレキシブル配管システムなどの成長事業へ経営資源を投入するとともに、国内製造拠点へのプロセス改革を盛り込んだ設備投資でモノづくり力の強化を図ります。

さらに省エネルギー、労働者不足、安全・安心な社会の実現など社会ニーズの解決に貢献できるソリューション事業を、新規事業として推進します。

### Waupaca Foundry, Inc.のポートフォリオ変革

Waupaca Foundry, Inc.は、北米シェアNo.1の鋳鉄製造メーカーであり、スケールメリットと有力なお客様との強固な協業関係において圧倒的なプレゼンスを有しています。今後は乗用車向けのみならず、ヘビーデューティー分野で高付加価値ニーズに対応した製品を拡大して収益基盤を強化します。

### 市場トレンドと戦略

| 市場   | 機構                        | 要求ニーズ                 | 対応                      |   | 当社製品                       |
|------|---------------------------|-----------------------|-------------------------|---|----------------------------|
|      |                           |                       | 既存事業                    | 強化領域  |                            |
| 乗用車  | 内燃系                       | 低燃費/低コスト              | 耐熱性要求への適合力              | 多様な耐熱材料技術   | 耐熱鋳鋼                       |
|      |                           | 小型ガソリン/ターボ化           | 設計・鋳造・加工/拠点対応力          | 設計評価・加工強化   | 耐熱鋳鉄                       |
|      | EV                        | 仕様多様化<br>マルチ・ファンクション化 | 形状・大きさ・材質<br>軽量化と放熱性の両立 | 重力鋳造・LPD <sup>*1</sup> ・HPD <sup>*2</sup> 工法に対応<br>新材質・新工法の開発 | バッテリーケース<br>モーター/インバーターケース |
| 非乗用車 | シャーシ<br>(構造部品)<br>(足回り部品) | 低コスト<br>軽量化<br>量的対応力  | 材質×強度設計の最適化             | 新材質開発   | アルミホイール                    |
|      |                           |                       | 拠点対応力                   | 日本・米国・韓国・インド  | 足回り部品                      |
|      | 耐用重性<br>低コスト<br>大型対応      | 安定供給性                 | Waupaca Foundry, Inc.   | ダクタイル・Gray Iron   |                            |
|      |                           | 大型鋳造                  | 水平割鋳造技術                 | 大型ダクタイル   |                            |

\*1 LPD: 低圧ダイカスト、\*2 HPD: 高圧ダイカスト